

第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開

2 幕藩体制の成立

1 江戸幕府と大名・朝廷（教科書 P. 112～117）

▶江戸幕府の成立 [p. 112]

豊臣秀吉の死→子の〔 〕は幼少→五大老の〔 〕が力をもつ

1600年 〔 〕〔 〕（東軍）が〔 〕（西軍）をやぶる

→徳川家康の全国支配権が確立，西軍の大名は改易・減封・転封などの処分

1603年 徳川家康が〔 〕になり江戸幕府を開く

1605年 家康が子の〔 〕に将軍の地位を譲る（家康は大御所として実権を握る）

1614・1615年 〔 〕・〔 〕…

〔 〕の大仏殿鐘銘を口実として大坂城の〔 〕を攻め滅ぼす

▶大名の統制 [p. 112]

大名…将軍の直臣で〔 〕以上の領知を持つ者

戦時には軍役を，平時には土木・建築工事を請け負う（御手伝普請）

〔 〕…徳川氏一門

〔 〕…関ヶ原の戦い以前に家康に仕えた家

〔 〕…関ヶ原の戦い以後に家康に従った家

1615年 〔 〕（大名の居城を一つに限る）

1615年 〔 〕（大名の心構え，居城の無断修築等禁止，
大名間の婚姻許可制）

1635年 武家諸法度に〔 〕の制度を加える（3代将軍〔 〕のとき）

幕府と藩によって全国の土地と人民を支配する仕組みを〔 〕という

武家諸法度違反や後継者がいない場合などに〔 〕・減封・転封などの処分

▶幕府の組織 [p. 114]

江戸幕府の職制

〔 〕…臨時に老中の上に置かれる

〔 〕…将軍の下で政務の統括，3～6名

- [] …老中の補佐，旗本・御家人関係の政務
- [] …寺院・神社の統制と寺社領の支配
- [] …江戸の市政
- [] …幕府財政と直轄地の支配
- [] …大名の監察
- [] …若年寄の下で旗本・御家人の監察
- [] …朝廷と西国大名の監視
- [] (大坂・駿府) …軍事的な拠点
- [] (京都・大坂・駿府) …重要都市の政務
- [] (長崎・山田・日光・佐渡・奈良・堺など) …重要な都市を直轄
- []・[] …勘定奉行の下で直轄領の政務

三奉行（老中とともに
評定所を構成）

将軍直属の家臣団

御目見得可 = []

御目見得不可 = []

幕府の財政基盤

直轄領（幕領）からの年貢（約 410 万石）

佐渡相川・伊豆・但馬生野・石見大森などからの鉱山収入→貨幣鑄造権を独占

京都・大坂・堺・長崎などの直轄都市で商工業や貿易を統制

▶朝廷・寺社の統制 [p. 115]

朝廷の統制

1615 年 []

(天皇の心構えや権限，公家の席次や昇進を規制)

[] が朝廷を監視，[] (公家) を通じて朝廷を統制

1620 年 2代将軍 [] の娘 [] を [] に入内させ，

やがて中宮とした

1627 年 [] (幕府が朝廷による紫衣の勅許を無効とした)

後水尾天皇退位，[] (秀忠の孫) 即位

朝廷は政治的には無力な存在に

寺社の統制

[] (1601年～1616年) …宗派ごとに本末制度を確立

[] (1665年) …宗派を超え、全国の寺院を幕府が統制

[] (1665年) …神社・神職を統制

幕府に従わない日蓮宗 [] を弾圧

▶寛永文化 [p. 116]

儒学

背景…幕藩体制が確立し安定した社会

→政治のあり方や個人の生き方を模索

→一般の武士や庶民の間に普及

[] …身分秩序を重視しており、幕府に受け入れられる

徳川家康が [] の門人 [] を登用

建築

[] (権現造、陽明門が有名)

[] (茶室建築を取り入れた簡素な数寄屋造)

絵画

[] (幕府御用絵師) 『大徳寺方丈襖絵』

[] (朝廷絵師)

[] 『風神雷神図屏風』

[] 『夕顔棚納涼図屏風』

工芸

[] (家康から京都鷹ヶ峰の土地を与えられ、芸術村創設)

『舟橋蒔絵硯箱』

[] (赤絵の技法を完成) 『色絵花鳥文深鉢』

文芸

[] (儒教道徳にもとづく平易な教訓書) や旅行記などが広く読まれる

俳諧…京都の [] に始まる貞門派が活躍